

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	令和4年度 50.0%	自校A B層の割合	令和4年度 50.7%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●チャイムと同時に授業が行えるよう、教員はチャイム前入室を徹底します。 ●授業の後半に必ず振り返りを5分間以上行い、その日の授業の要点をおさらいします。 ●学期に一回、指導案略案を作成し、OJTに基づき研究授業に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●週末テストの実施 各学年ごとに、週末に10問程度の基礎的な内容の確認テストを実施します。国数英社理の5教科で実施し、合格ラインを80点以上に設定します。優秀者は学年だより等で紹介し、頑張りを評価し、継続的に励まします。 	<ul style="list-style-type: none"> ●KGP（家庭学習プロジェクト）の実施・充実 すべての生徒がKGPノートを準備し、家庭学習に取り組みます。学習教科は生徒個々の主体性にまかせ、生徒が必要であると感じる学習内容を、一日2ページ、1時間以上を目安に取り組みさせます。
特に支援が必要な児童・生徒への手立て		<ul style="list-style-type: none"> ○合格できない生徒は放課後に残し、同一の問題を繰り返しテストします。粘り強く合格させます。 ○江戸川区「放課後補習教室」につながるように積極的に勧め、継続的に参加ができるように支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○KGPにより提出されたノートを担任は欠かさずに目をとおり、コメントを書いたり、押印したりして、評価し、認め、継続的に励まします。 ○ノートの提出が滞る生徒に対しては、週末テストと同様に放課後残し、不足分の学習に取り組みさせます。
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ◎「チャイム前入室」「授業の振り返り」の自己点検を週案に記入し、管理職が確認する。達成率90%以上を目指す。 ◎指導案略案の提出率100%を目指し、研究授業を教員相互が参観する。管理職が助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎全国学力・学習状況調査の活用 令和4年度 国語D層29% 数学D層35% 理科D層27% すべての教科において、D層を25%以下にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎全国学力・学習状況調査の活用 令和4年度「一日に1時間以上学習している生徒の割合」が68%であった。 一日1時間以上学習する生徒の割合を85%以上にする。